



System Setup ウィザードの実行

- [System Setup ウィザードの実行 \(1 ページ\)](#)
- [利用可能なアップグレードの確認 \(2 ページ\)](#)

System Setup ウィザードの実行

システムセットアップウィザードを実行して、基本的な設定を行い、システムデフォルトを有効にします。システムセットアップウィザードは、Webベースインターフェイスを通じてアプライアンスにアクセスすると自動的に開始され、エンドユーザライセンス契約書 (EULA) が表示されます。

ステップ1 エンドユーザーライセンス契約書に同意します。

ステップ2 「[ネットワーク設定の記録](#)」から情報を入力します。

この設定に関する追加情報が必要な場合は、[ヘルプとサポート (Help and Support)] > [オンラインヘルプ (Online Help)] を選択してください。

ステップ3 設定サマリーページを確認します。

ステップ4 [この設定をインストール (Install This Configuration)] をクリックします。

ステップ5 アプライアンスが設定を受け入れていないかまたはインストールが行われていないように見えることがあります。これは、IPアドレスを変更したものの、インストールがまだ途中であるためです。

ステップ6 前述の説明に従ってコンピュータのIPアドレスを一時的に変更した場合は、IPアドレスを元の設定に戻します。

ステップ7 コンピュータとアプライアンスがネットワークに接続されていることを確認します。

ステップ8 「[設置の計画](#)」でメモしたホスト名またはIPアドレスでアプライアンスに再度ログインします。ユーザー名 **admin** と、ウィザードに入力した新しいパスワードを使用します。

Cisco Webセキュリティアプライアンスでは自己署名証明書が使用され、Webブラウザから警告がトリガーされる可能性があります。証明書を受け入れ、この警告を無視します。

ステップ9 管理者パスワードを安全な場所に保管してください。

利用可能なアップグレードの確認

アプライアンスにログインした後で、Web ブラウザ ウィンドウの上部でアップグレード通知（またはCLIで通知）があるかどうかを確認してください。アップグレードが適用可能な場合は、アップグレードをインストールする必要があるかどうかを検討します。

各リリースの詳細情報は、AsyncOS バージョンのリリース ノートに記載されています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。